

COVAXワクチン・サミット（令和3年6月2日）  
総理開会挨拶

冒頭

御出席の皆様、本日は、COVAXワクチン・サミットにお集まりいただき、誠にありがとうございます。皆様の参加を心より歓迎いたします。

このサミットを、バローゾG a v i 理事会 議長と共に主催できることを、大変光栄に思います。

開会にあたり、世界的に拡大した新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々の御冥福を心よりお祈り申し上げます。そして、保健・医療などの最前線で、この感染症との闘いに、日々立ち向かわれている全ての方々に、深い敬意を表します。世界の各国が対策に注力し、一進一退の状況が続く中で、私は、強い使命感をもって、このワクチン・サミットを成功に導き、皆様と共に、「ワクチンへの公平なアクセス」の実現に向けて大きく前進させていく決意であります。

COVAXファシリティの成果

ワクチンへのアクセスが、国の置かれた状況や経済力によって左右されることは、断じて許されません。

このような考えから、昨年、途上国を含む全世界において、「ワクチンへの公平なアクセス」を実現するため、COVAXファシリティは立ち上げられました。

この、他に例を見ない国際的な協力枠組みの下で、迅速にワクチン供給が進められ、すでに120を超える国・地域に、合計7600万回分以上のワクチンが届けられています。

これはまさに、国際社会が団結して取り組んだ成果であります。バローゾ理事会 議長、バークレー事務局長をはじめ、関係者の皆様の御尽力に、改めて敬意を表します。

## 新型コロナ克服に向けた更なる連帯の必要性

しかしながら、我々が直面する危機を乗り越えていくためには、更なる連帯とコミットメントが求められます。

世界的な感染拡大から1年以上が経過し、今や、感染者数は、1億7千万人を超え、350万人を超える方々の尊い命が失われました。各国の社会・経済活動にも、依然として甚大な影響を与え続けています。

この局面を乗り越えるための決め手となるワクチンを、より一層普及させるべく、更なる資金拠出と、既に多くのワクチンを確保した国による現物供給、この両面での貢献が必要です。

我が国は、人間の安全保障の理念の下、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの達成に向け、安全で、効果的なワクチンを、公平に、より多くの人々に届けることを全面的に支援していく考えです。今年中に、18億回分、途上国の人口30%分のワクチンを確保するという目標を達成するために、本日、皆様と共に、力強い一歩を踏み出したいと思えます。

## 結び

この会合が、新型コロナの克服、そして、「より良い回復」に向けて、世界に希望を届ける会合となることを期待し、私の開会の挨拶とさせていただきます。

御清聴、ありがとうございました。